旭実だより

北海道立正学園
旭川実業高等学校
広報部
TEL(0166)51-1246
旭川実業高校ＨＰ

春の高校バレー北海道大会

全試合ストレート勝ちで完全優勝

2年ぶり22回目の全国へ

11月4日（火）～7日（金）、14日（金）の5日間に渡り、「**第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会　北海道代表決定戦**（春の高校バレー北海道大会）」が札幌市のきたえーるおよび北ガスアリーナ46で開催されました。第1シードとして出場した本校は、2回戦から決勝まで計5試合を戦い、すべての試合で1セットも落とすことなくストレートで圧倒し、2年ぶり22回目となる優勝を果たしました。1月5日（月）からは東京体育館で開催される**全国大会へ出場**します。12月22日（月）には今津市長を表敬訪問する予定となっています。

主将・中村 咲陽 さん（普3・釧路町遠矢中）「インターハイ北海道予選では2位という結果に終わり、悔しさが胸に強く残りました。その気持を忘れず、夏以降は一つ一つの練習を今まで以上に大切にし、仲間とともに自分を追い込んできました。その努力が実を結び、選手権大会では念願の優勝を掴み取ることができました。コートに立った瞬間、これまでの苦労がすべて力に変わり、自信につながったと実感しています。全国大会では、さらに成長した姿を見せられるよう練習に取り組んでいきます。そして、日本一という大きな目標に向かって挑戦していきます。支えていただいた方への感謝を忘れず、全力で戦い抜きます。引き続き応援よろしくお願いします。」

【試合結果】

2回戦	2	対	0	札幌北斗
3回戦	2	対	0	岩見沢緑陵
4回戦	2	対	0	帯広南商
準決勝	2	対	0	札幌山の手
決　勝	2	対	0	札幌大谷

全国高校弁論大会　津山さん優秀賞

12月5日（金）、福澤諭吉が幼少期を過ごした大分県中津市において「**福澤諭吉記念第64回全国高等学校弁論大会**」に**津山 千春 さん（普2・札幌日章中）が出場**しました。

今年は北海道・東北地方を中心に過去に類のないほど「クマ」による被害が多く発生し、私たちの生活に支障をきたしている現状を踏まえ、ヒグマとの共存を果たしてきた「道産子」だからこそ、この問題と向き合わなければならないことを熱弁した結果、見事、**優秀賞を受賞**しました。

津山 千春 さん「入賞できたことは嬉しいことですが、何よりこの福澤諭吉弁論大会に参加できたこと自体が本当に嬉しかったです。北海道から沖縄まで個性豊かな弁士たちの発表を聞けたことはもちろん、中津の城下町散策や多くの方々と交流できたことは、またとない貴重な経験になりました。応援してくれたたくさんの方々に感謝しています。」

科学サークル『わくわく体験フェス』に参加

12月7日（日）、イオンモール旭川西で開催された「**わくわく体験フェス**」に、**科学サークルが参加**しました。今回は「**きれいなビンを作ろう**」というテーマで、化学の授業でも扱う『**銀鏡反応**』を、より簡単な方法で来場者に体験してもらいました。

透明だったビンが反応によって銀色に変化し、鏡のように輝く様子に、子どもたちからは驚きの声がたくさん上がっていました。完成したビンにはストラップを付け、そのまま記念として持ち帰ってもらいました。

イベントは10時から17時まで行われましたが、準備していた160セットはなんと15時30分にはすべて終了。予想を上回る来場者が訪れ、科学の楽しさに触れるきっかけを提供できた一日となりました。

次回の参加は1月11日（日）、旭川市科学館サイパルにて実施されるイベントです。科学サークルは「**3Dホログラムでたのしもう**」「**プラバンでキーホルダー**」の2つのブースを担当します。ぜひご来場ください。

壺屋総本店　スイーツ講座

商業科では、㈱壺屋総本店様の協力のもと、毎年スイーツの企画・開発に取り組み、「旭実フェスティバル」や「食べマルシェ」などのイベントで販売を行っています。今年度もその準備学習として、12月2日（火）の1～4時間目に、2年生を対象とした**特別講座が実施**されました。

講師には、㈱壺屋総本店代表取締役社長の村本暁宣様（本校ＯＢ）をお招きし、商品開発に欠かせないマーケティングの考え方をはじめ、賞味期限や原価計算など、実践的な内容についてご講義いただきました。講義後には調理実習を行い、生徒たちは事前に考案していた「どら焼き」をベースとしたスイーツを実際に完成させました。さらに、完成後には材料費などをもとに原価を算出し、適正な販売価格を考えるところまでを体験しました。

今後は、講座で学んだ知識をいかし、班ごとにオリジナルスイーツの開発を進めていきます。

社会貢献への第一歩　3年生が卒業献血

12月4日（木）・5日（金）の2日間、3年生を対象とした「**卒業献血**」が実施されました。毎年続けているこの取り組みは、卒業を控えた生徒たちが医療を支えるボランティア活動として社会に貢献する大切な機会となっています。特に血液の需要が高まる年末の時期に行われる卒業献血は、多くの医療現場を支える重要な役割を担っています。今年は2日間で124名の生徒が参加し、献血に臨んでいました。

この活動を通して、生徒たちは高校生活の締めくくりとして、命の尊さや支え合いの大切さについて改めて考える貴重な時間を過ごしました。